

時間割コード	G2B40407	開講年度	2026				
授業題目	中世英語文献学入門					担当教員	伊藤 尽
英文授業名	An Introduction to Medieval English Philology						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・1時限	対象学生	全
講義室	共通教育 4 2 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P					⇔	大学入学前は知ることのできなかった中世英語文献学という学問体系に関する知識を身に付け、日々の学修や生活内に見聞と結び付けることができ、様々な問題意識を抱きながら、問題解決への発想の糸口を発見できるようになること。
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力						
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際理解)						
(4)授業の概要	西欧中世という約1000年に及ぶ期間に英語や関連言語で書かれ、伝わった、ヨーロッパ北西部を中心とした文献研究の手法、対象となる作品（歴史書・宗教書・文学作品・法令等）を概観する。 ・ 以上のような作品が21世紀の日本に多くの影響を与え、学生たちが日々目にしているゲームやラノベ、映画、アニメやマンガ作品に姿形を変えて継承されている事実を認識し、その上で、専門非専門の別に限らず、人生の中で読むべき価値のある作品と出会う機会を提供する。 ・ 特に今年度は中世英語文献学者だったJ・R・R・トールキンについて詳しく学ぶ。彼の「創造言語」である「エルフ語」にも言及し、「中世英語文献学」とその関連研究領域についての知識を得ることで、更なる未知の領域へ進むことができる実践を垣間見る。講義担当者は、「エルフ語」を用いる映画やドラマでの声優達にエルフ語の解説を行った実務経験を持っているため、受講生にもその経験を活かし、興味の尽きないエピソードなどを伝えることで、一見「役に立たない」知識や経験がいかにこの世界で価値を持つかについて、考察する時としたい。						
(5)授業のキーワード	西洋中世、中世北欧、神話、伝説、ファンタジー、英雄、キリスト教、騎士、ロマンス、文学、叙事詩、アーサー王、北欧神話、エルフ語（実務経験あり）						
(6)授業計画	1. イントロダクション：中世英語文献学とは何か？の問いに答える 2. 中世英語文献学の扱う範囲：地理・時代・言語・作者・素材から見えるものは何かを考察する 3. 中世英語文献の始まり：ルーン文字・ラテン語・キリスト教が齎したものは何かを考察する 4. ゲルマン文学としての古英語文学：古英語で書かれた文学／文献とは何かを考察する 5. 英雄叙事詩としての『ベオウルフ』：現存最古最長の英雄叙事詩の内容を把握し、その意味を問う 6. 中世英語文献学者としてのJ. R. R. トールキンが残した学問的／文化的遺産を概観する 7. エルフの歴史：中世英語文献学に書き残されたエルフの伝説を中世北欧文献に残された資料と比較し、考察する 8. エルフ語入門の入門（エルフ語概説）；シンダリンとクウェンヤ 9. エルフ語：シンダリン入門 10. エルフ語：クウェンヤや書記法 11. 中英語ロマンス『ガウェイン卿と緑の騎士』（その1）：14世紀の代表的な英雄ロマンス作品からの抜粋を読み、中世のイングランド人の価値観について考察する 12. 中世ロマンス『ガウェイン卿と緑の騎士』（その2）：作品中に現れる不可思議な冒険が、トールキンの学究的な業績によって、現代のファンタジー作品にどのように継承されているかを考察する 13. サー・トマス・マロリー『アーサーの死』：15世紀になると、これまでのアーサー王伝説の集大成となるこの作品によって、現在のアーサー王伝説体系がまとまる。そこに現れた剣と魔法の物語が、現在のわたしたちの生活にどのように影響を与えているかを考察する。 14. アーサー王と活版印刷術：『アーサーの死』を普及させたのは、イングランドで最初の活版印刷業を始めたウィリアム・キャクストンであることは疑いが無い。キャクストンの業績を紹介し、活版印刷術が現在の生活やファンタジー作品にどのように関わるかを考察する。 15. 総論：14回の総括とともに、そこで触れなかったジェフリー・チョーサーをはじめとする作品について追加情報を提供し、学生の課題に資するよう考察する						
(7)成績評価の方法	授業後の課題：毎回の授業後にreaction notesを提出。内容は、以下の3点です。 1. 授業のテーマについて、授業前に知っていたこと、或いは（漠然とでも）考えていたこと 2. 授業中に考えたこと、感想や疑問点 3. 授業受講後に、1の記載内容がどのように発展／変化／継続したか ・ この課題作成を授業後学修活動とし、そこに記載された授業前の知識や考えを授業前学修活動とします。この受講前・受講中・受講後の活動を毎週繰り返すことで、中世英語文献学についての理解の深まりがログとして記録されます。 ・ ログとして記録された理解の深まりとともに、その研究対象への知識や興味の拡大を受講生が「自覚」することで、各自の大学生としての学修活動や生活の中での気づきに結び付けられるようになります。						
(8)成績評価の基準	(1) 毎回のreaction notes & self-evaluationの提出：全15回の授業の合計 40%で換算 (2) 期末のレポート：60%で換算 (1)は、自分の客観的な学修活動を客観的に評価していれば基準を満たしていると判断します。 自分の学修活動を自己評価して妥当ならば、やや上にある、と判断します。						

(8)成績評価の基準	自分の学修活動を自己評価して、その改善について積極的・消極的意見のいずれかを客観的に述べていれば、かなり上にあると判断します。 自分の学修活動を自己評価して、具体的な学修活動の報告を証拠とともに報告できれば卓越していると判断します。 (2)は授業内で興味を覚えた項目について、自分で改めて調べ、新たな知見について論じる際に… evidenceと共に、具体的な参考文献についても直接間接に引用し、註を用いて自論を解説できればその水準にある 水準を満たしながら、自分で選んだ課題にオリジナリティがあれば、やや上にある オリジナリティがありながら、先行研究に客観的批評を下していれば、かなり上にある 先行研究に客観的批評を下しながら、先行研究を超える新しい学説を論じていれば、卓越していると判断します。
(9)事前事後学習の内容	セルフエヴァリュエーション（ルブリック）に、自身の行った事前学習・事後学習を具体的に記載することが求められます。 事前・事後の学修は参考文献および参考資料の渉猟を行い、文献などを読み、自身の知識を加えて、授業内容の理解を助け、深めます。 また、リアクション・ノートに授業の感想や質問事項を記載することで、事後学習（復習）としますので、必ず提出してください。
(10)履修上の注意	受講にあたり、前提となる知識は持っていなくてもかまいません。 但し、事前/事後学修でいろいろな書物・論文を自分で探して学ぶ必要があります。 書物を読むのが好きな人にオススメの授業です。
(11)質問、相談への対応	セルフエヴァリュエーションとリアクションノートによって質問・相談の内容を提出することは可能です。 e-Alps上に提出するリアクションノートに記載された質問への答は、フィードバックを通じて応えます。
(12)授業への出席	出席は強制するものではない、との考えから、出席自体を評価の基準にはしません。 そもそも全出席が基準となっているので、欠席する際は、相応の事由があるものと考えています。 ただし、事由の有無に拘わらず、欠席した授業に関してもセルフエヴァリュエーションとリアクションノートを提出しない場合は、評価は下がります
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	事前・事後学習を行うことが求められているので、授業に出席できなくても、欠席事由はセルフエヴァリュエーションとリアクションノートにて報告する義務が生じます。 「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、e-Alps内にアップロードしてある授業資料を自分で読み、そこで学修した内容をセルフエヴァリュエーションとリアクションノート内に記載して提出してください。 授業資料から学びとったことをセルフエヴァリュエーションには「学修内容」を、リアクションノートには「質問・感想」を記載しましょう。 提出された記載内容に準じて出席を認めることがあります。
【教科書】	e-Alpsを通じて配布する授業資料になります。
【参考書】	参考書 図師宣忠編著、『映画で味わう中世ヨーロッパ』，9784623097746，ミネルヴァ書房，2024年，\3000. 高宮利行著、『西洋書物史への扉』，9784004319634，岩波新書，2023年，\1000. 谷口幸男著・小澤実編、『ルーン文字研究序説』，9784896943337，八坂書房，2022年，\4500. 高宮利行、松田隆美編、『中世イギリス文学入門：研究と文献案内』，9784841904901，雄松堂出版，2008. 高宮利行、原田範行共著、『図版 本と人の歴史事典』，9784760114165，柏書房，1997年. Claire Brey and Joanna Story, eds., Anglo-Saxon Kingdoms: Art Word War, 9780712352024, British Library, 2018, \16080. 安東伸介・岩崎春雄・高宮利行共編、『厨川文夫著作集』上下巻，金星堂，1981年. 桜井俊彰著、『イングランド王国前史：アングロサクソン七王国物語』，9784642-057080，吉川弘文館，2010. 桜井俊彰著、『戦国ブリテン：アングロサクソン七王国の王たち』，9784087213003，集英社新書，2024，\960. ダニエル・ドナヒュー著 伊藤盡訳、『貴婦人ゴディヴァ：語り継がれる伝説』，9784766418590，慶應義塾大学出版会，2011. 成蹊大学文学部学会編『探求するファンタジー：神話からメアリー・ポピンズまで』成蹊大学人文叢書7. 風間書房，2010. 境田進訳、『ガウエイン詩人全訳詩集』，小川図書，1992年. 池上忠弘訳、『「ガウエイン」詩人 サー・ガウエインと緑の騎士』，9784881252239，専修大学出版局，1997，\3400. 菊池清明訳、『中世イギリスロマンス ガウエイン卿と緑の騎士』，9784861105791，春風社，2018年，\3400. ジェフリー・チョーサー著・池上忠弘監訳、『カンタベリ物語』，共同新訳版，9784865820423，悠書館，2021年，\6800. 中世英国ロマンス研究会訳『中世英国ロマンス集』 9784784100811，篠崎書林，1983. 中世英国ロマンス研究会訳『中世英国ロマンス集 第二集』，9784784104536，篠崎書林，1986.